

セキュリティ製品

2015年9月 現在

製品名	OS	コンフリクト詳細
トレンドマイクロ TREND MICRO ビジネスセキュリティ 9.0 SP1 ※回避策は「資料_VBBS」を参照	Windows 7 Ultimate SP1(x86) (x64)	CATSクライアント同居時に、VBBSの管理サーバアドレスを除外ホストに登録しない場合に、VBBSクライアントがオフライン状態となる。
	Windows 8.1 Update Enterprise(x86) (x64)	CATSクライアントと同居時に、VBBSのHTTPフィルタリングが無効となり、HTTPの規制画面が表示されなくなる。□
	Windows 8.1 Update Enterprise(x86) (x64)	※HTTPSサイトについては、CATS及びVBBSでも規制画面は表示される。
トレンドマイクロ ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス (バージョン5.7) ※回避策は「資料_VBBSS」を参照	Windows 7 Ultimate SP1(x86) (x64)	CATSクライアント同居時に、VBBSSの管理サーバアドレスを除外ホストに登録しない場合に、VBBSSクライアントがオフライン状態となる。□
	Windows 8.1 Update Enterprise(x86) (x64)	CATSのグループ書き込み規制が有効の場合、VBBSSのオンラインインストールページが動作せず、インストールできない。
	Windows 8.1 Update Enterprise(x86) (x64)	CATSクライアントと同居時に、VBBSSのHTTPフィルタリングが無効となり、HTTPの規制画面が表示されなくなる。 ※HTTPSサイトについては、CATS及びVBBSSでも規制画面は表示される。
カスペルスキー Kaspersky Endpoint Security 10 for Windows ※回避策は「資料_KasperskyEndpoinSecurity」を参照	Windows 7 Ultimate SP1(x86) (x64)	カスペルスキーのインストールはできるが、アクティベーションができない。
	Windows 8.1 Update Enterprise(x86) (x64)	CATSクライアントと同居時に、カスペルスキーのアップデート、CATSクライアントのLookup通信、Web閲覧ができない。
カスペルスキー カスペルスキー 2015 マルチプラットフォーム セキュリティ ※回避策は「資料_KIS」を参照	Windows 7 Ultimate SP1 (x64)	カスペルスキーのインストールはできるが、アクティベーションができない。
	Windows 8.1 Update Enterprise (x64)	
マカフィー McAfee Complete Endpoint Protection – Enterprise ※回避策は「資料_McAfeeEP」を参照	Windows 7 Ultimate SP1(x86) (x64)	CATSのグループ書き込み規制が有効の場合、McAfee Agent ステータスマニターから、[プロパティの収集と送信]、[イベントを送信]、[新しいポリシーの確認]をクリックすると、
	Windows 8.1 Update Enterprise(x86) (x64)	エラー「ePOサーバに接続できません。」となる。 McAfee Complete Endpoint Protection サーバアドレスを除外ホストに登録しない場合に、McAfee VirusScan Enterpriseをインストールできない。
マカフィー マカフィー トータルプロテクション 2015 ※回避策は「資料_McAfeeTP」を参照	Windows 7 Ultimate SP1 (x64)	CATSのグループ書き込み規制が有効の場合、マカフィートータル
	Windows 8.1 Update Enterprise (x64)	プロテクションのインストールが続行できない。
シマンテック ノートンセキュリティ ※回避策は「資料_ノートンセキュリティ」を参照	Windows 7 Ultimate SP1 (x64)	CATSのグループ書き込み規制が有効の場合、ノートンアカウントの
	Windows 8.1 Update Enterprise (x64)	アクティブ化ができない。
キヤノンITソリューションズ ESET パーソナル セキュリティ V8.0 ※回避策は「資料_ESET」を参照	Windows 7 Ultimate SP1 (x64)	CATSのグループ書き込み規制が有効の場合、アクティベートに失敗する。
	Windows 8.1 Update Enterprise (x64)	
エフセキュア F-Secure Internet Security 2015	Windows 7 Ultimate SP1 (x64)	CATSのグループ書き込み規制が有効の場合、F-secureインストール時
	Windows 8.1 Update Enterprise (x64)	ライセンス認証に失敗する。

セキュリティ製品

製品名	OS	コンフリクト詳細
Microsoft Windows Intune ※回避策は「資料_WindowsIntune」を参照	Windows 7 Ultimate SP1 (x64) Windows 8.1 Update Enterprise (x64)	CATSのHTTPSフィルタリング有効かつ、グループの書込み規制が有効の場合、 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Intuneのポータルサイトにログインできない ・ Microsoft Intune Centerから更新プログラムの確認に失敗する ・ Microsoft Intuneのリモートアシスタンス機能が使用できない CATSクライアントとWindowsIntune同居時、Microsoft IntuneのリモートタスクがクライアントPCで実行されない。

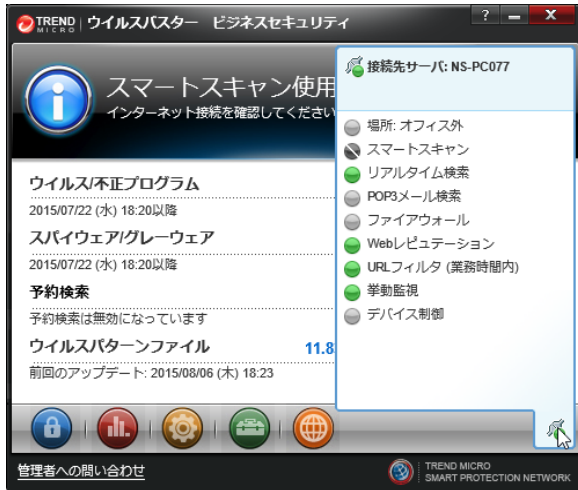
他アプリケーション

製品名	OS	コンフリクト詳細
Apple iTunes/iCloud ※回避策は「資料_iTunes_iCloud」を参照	Windows 7 Ultimate SP1 (x64) Windows 8.1 Update Enterprise (x64)	CATSのグループ書込み規制が有効の場合、以下の機能が動作しない。 【iTunes】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「このコンピューターを認証する」 ・ 「サインイン」 ・ アプリの購入 【iCloud】 <ul style="list-style-type: none"> ・ メール、連絡先、カレンダー、およびタスク ・ フォトの共有 ・ メールアドレス作成 ・ iCloud.comにサインインできない ・ クライアントPCでブックマークを登録してもiPhoneに反映されない ・ クライアントPCのiCloud Driveディレクトリにファイルを配置してもiCloud.com> iCloud Driveに反映されない ・ 連絡先を同期しているOutlookでの、新規連絡先追加
Microsoft Microsoft Office Professional 2013 SP1 ※回避策は、「資料_MicrosoftOffice」参照	Windows 7 Ultimate SP1 (x64) Windows 8.1 Update Enterprise (x64)	CATSのグループ書込み規制が有効の場合、Officeのライセンス認証、WindowsLiveにサインインできない
Microsoft OneDrive ※回避策は「資料_OneDrive」を参照	Windows 7 Ultimate SP1 (x64) Windows 8.1 Update Enterprise (x64)	CATSのグループ書込み規制が有効の場合、OneDriveのサインインが行えない。

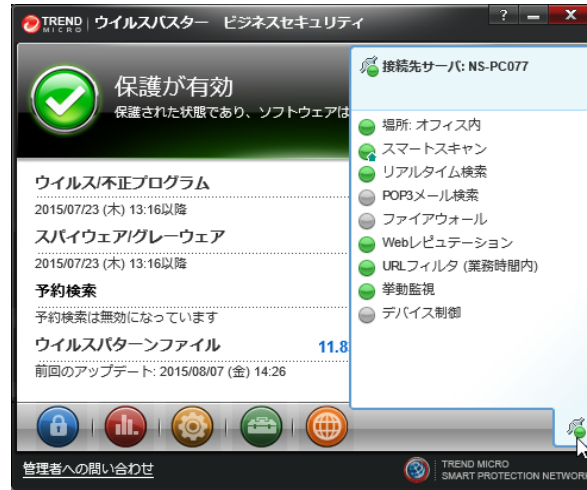
製品名 : TREND MICRO ビジネスセキュリティ 9.0 SP1

【事象】

場所がオフィス外で検索方法にスマートスキャンを設定している場合、スマートスキャンが停止状態になる。



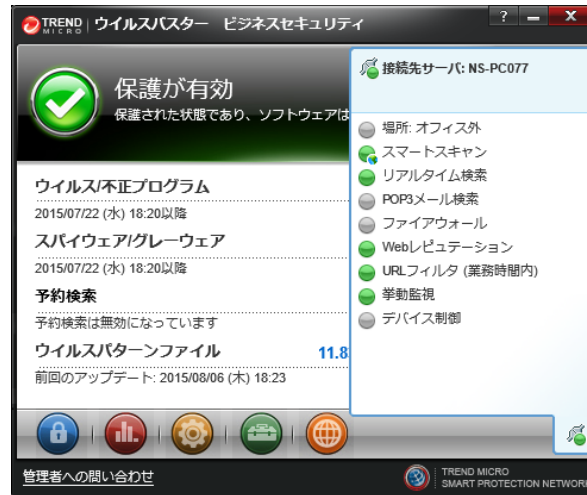
場所がオフィス内であればスマートスキャンが有効になる。



【回避方法】

- ・無効アプリケーションに NTRTSCAN を登録
- ・https除外ホストに以下を登録する

回避方法を行った結果



資料_VBBSS

製品名：ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス

【事象1】

CATSクライアントとVBBSS同居時に、VBBSSクライアントがオフライン状態となり、スマートスキャン使用不可となる。

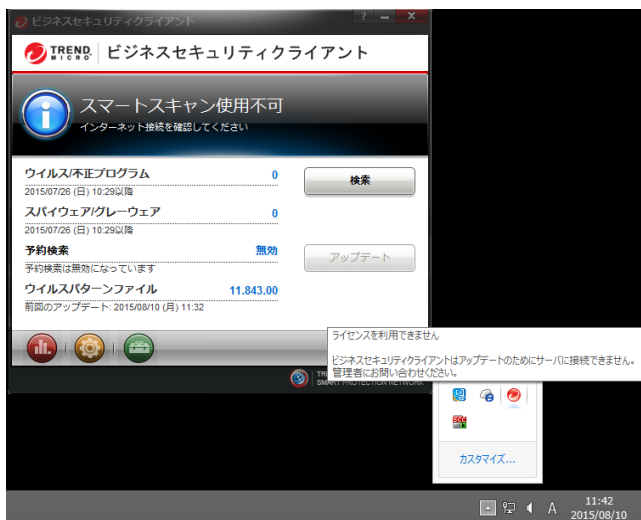
【回避方法】 ※回避方法1、回避方法2のどちらかを設定する

回避方法1：https除外ホストに以下を登録する。

wfbs-svc-nabu.trendmicro.com

*.icrc.trendmicro.com

回避方法2：フィルタリング無効アプリケーションを有効にして無効アプリケーションに以下を登録する。
NTRTSCAN

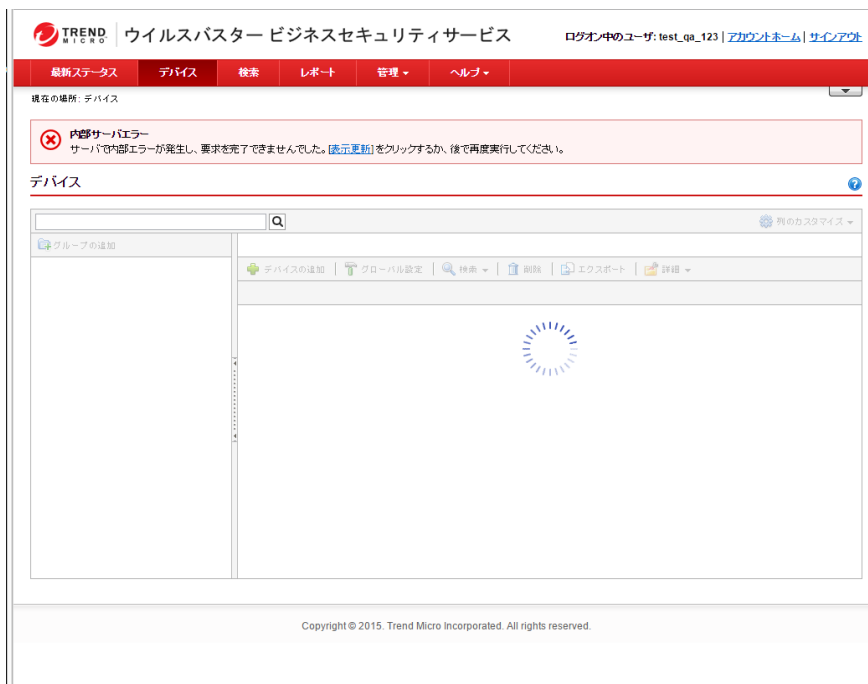


【事象2】

CATSインストール済みでグループ書き込み規制有効の場合、VBBSSのインストールができない。

【回避方法】

グループ書き込み規制を無効に設定する。



資料_KasperskyEndpointSecurity

製品名 : Kaspersky Endpoint Security 10 for Windows

【事象1】

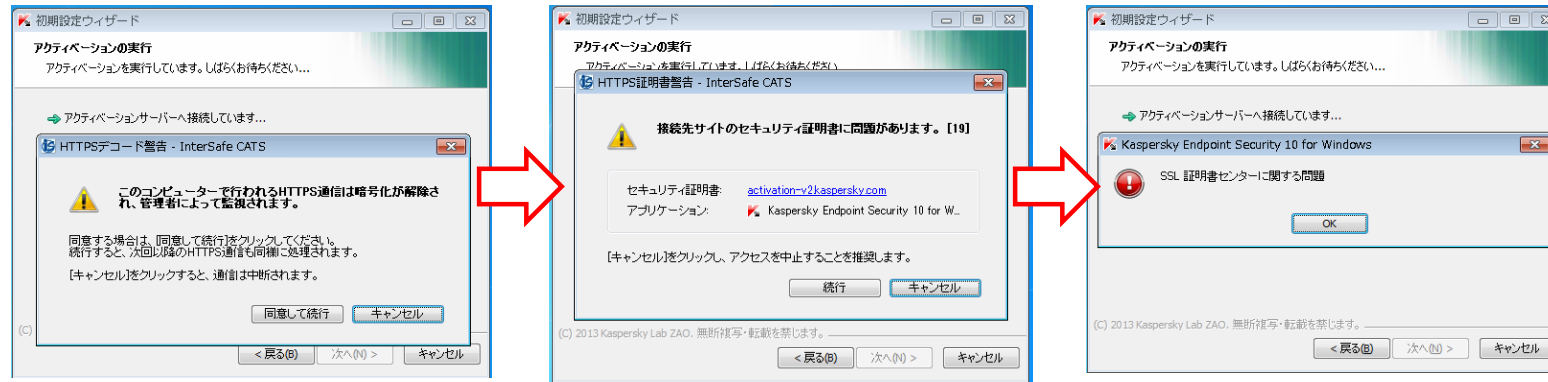
CATSとKasperskyEndpointSecurity10同居時に、カスペルスキーのアクティベーションができない。

【回避方法】

HTTPSフィルタリング機能の除外ホストに、

「HTTPS証明書警告ダイアログ中に表記されている、セキュリティ証明書のアドレス」を登録する。

activation-v2.kaspersky.com



エラー発生時の画面

【事象2】

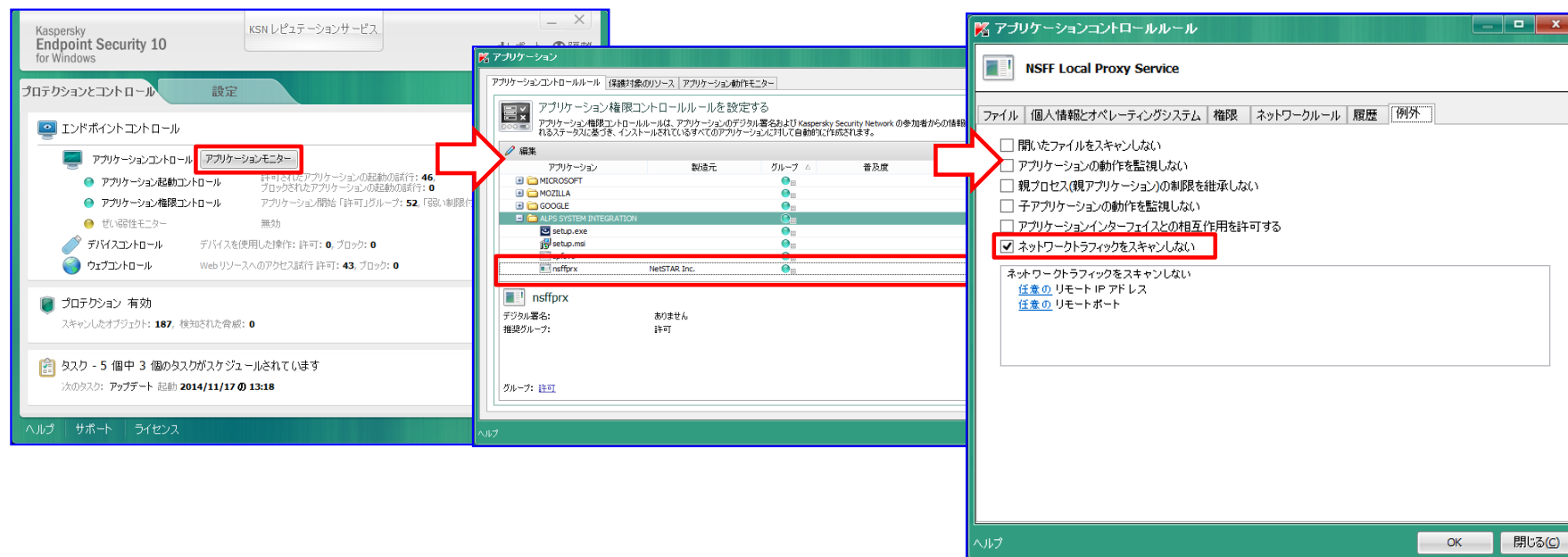
CATSとKasperskyEndpointSecurity10同居時に、通信のフックが競合してループバックアドレス間で大量のセッションが生成され、フィルタリング機能が無効になりWeb閲覧できなくなる。

【回避方法】 ※回避方法1、回避方法2どちらかを行うことで回避可能

回避方法1：カスペルスキー側の設定において、NSFF Local Proxy Serviceのネットワークトラフィックをスキャンしない設定にする。

回避方法1の手順

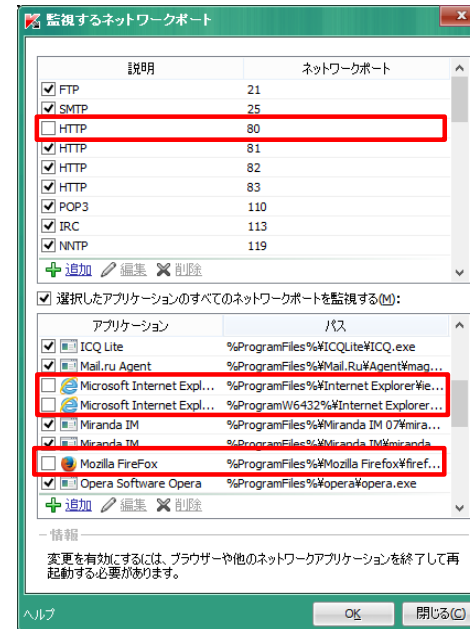
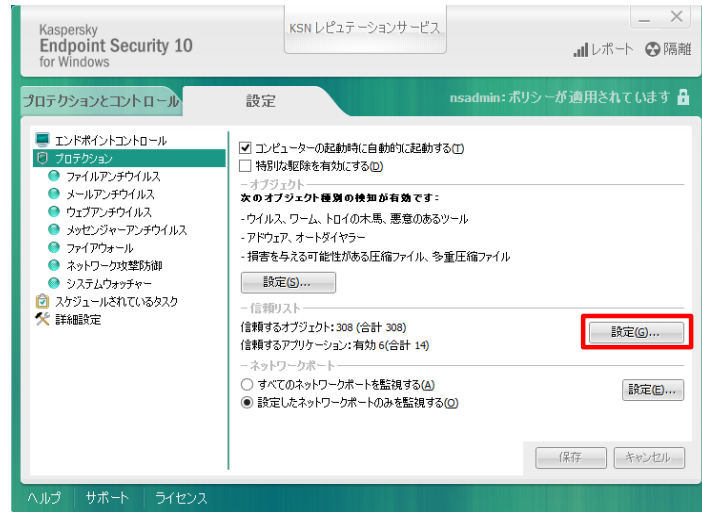
1. タスクトレイからカスペルスキーのアイコンをダブルクリックし、カスペルスキー管理画面を開く。
2. 「プロテクションとコントロール」をクリックして、「アプリケーションモニター」をクリックする。
3. 「アプリケーションコントロール」から「ALPS SYSTEM INTEGRATION」を選択し、nsffprx.exe を選択後、[詳細設定]ボタンを押下する。
4. 「例外」から「ネットワークトラフィックをスキャンしない」にチェックをつけ、[OK]ボタンを押下し、設定を反映させる。



回避方法2：カスペルスキー側の設定において、監視対象の設定で http、https、アプリケーションを除外する。

回避方法2の手順

1. タスクトレイからカスペルスキーのアイコンをダブルクリックし、カスペルスキー管理画面を開く。
2. 設定タブで「プロテクション」をクリックして、「設定」をクリックする。
3. 監視するネットワークポートで http、httpsの対象ポートと対象のアプリケーションのチェックを外し [OK]ボタンを押し閉じる。
4. [保存]ボタンを押下し、設定を反映させる。

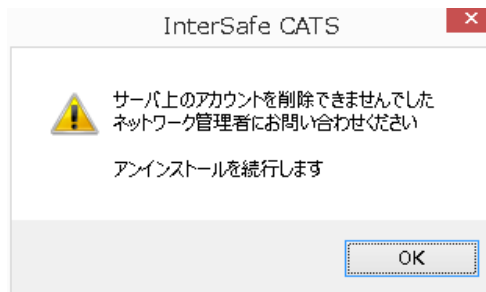


【事象3】

CATSアンインストール時、管理サーバ上のアカウントが削除されない。

【回避方法】

事象2と同様の対処を行なう。



資料_KIS

カスペルスキー 2015 マルチプラットフォーム セキュリティ

【事象】

CATSクライアントがインストール済みで、HTTPSフィルタリングが有効な場合に、Kaspersky Internet Security 2015 のアクティベーションに失敗する。

【回避方法】

HTTPS除外ホストに、証明書不正ダイアログに表示されたアドレスを登録する。

activation-v2.kaspersky.com

インストール中に不正証明書が表示される



資料_McAfeeEP

McAfee Complete Endpoint Protection – Enterprise

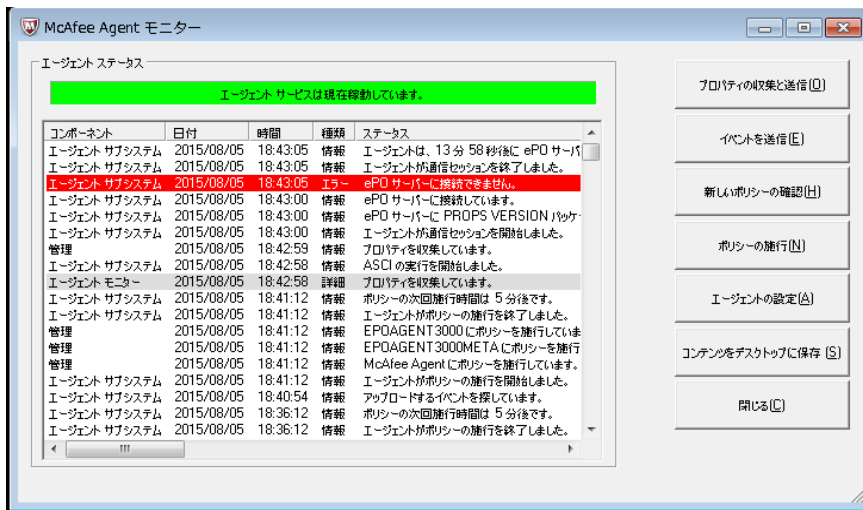
【事象1】

McAfee Agent ステータスマニターから、[プロパティの収集と送信]、[イベントを送信]、[新しいポリシーの確認]をクリックすると、エラー「ePOサーバに接続できません。」となる。

【回避方法】 ※回避策1、回避策2どちらかを行うことで本現象は回避可能

回避方法1：McAfeeのローカルサーバのIPを除外ホストに登録する。

回避方法2：グループ書き込み規制を無効にする。

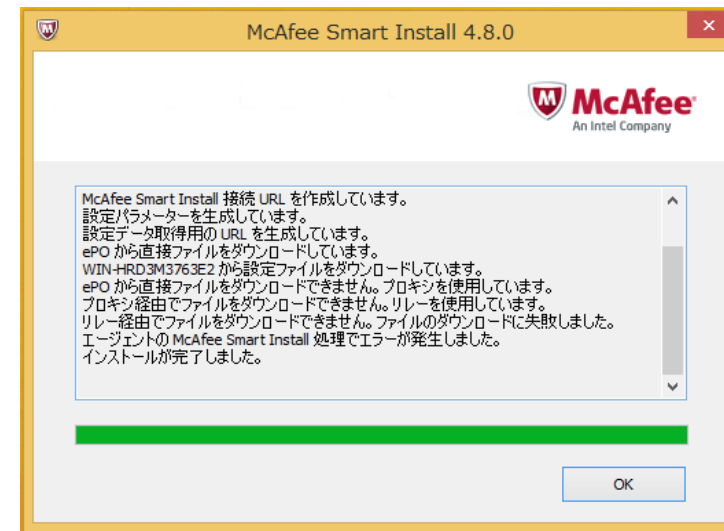


【事象2】

CATSインストール後、McAfee VirusScan Enterpriseをインストールできない。

【回避方法】

McAfeeのローカルサーバのIPを除外ホストに登録する。



マカフィー トータルプロテクション 2015

【事象1】

CATSインストール済みで、書き込み規制有効時にマカフィートータルプロテクションのインストールができない。

【回避方法】

書き込み規制を無効に設定する。



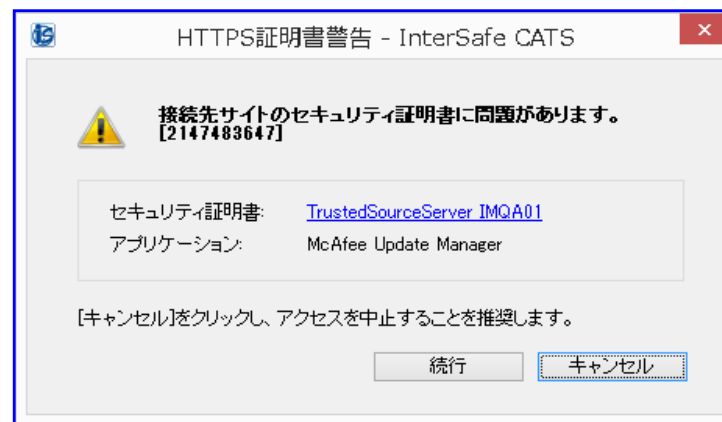
【現象2】

マカフィートータルプロテクションが通信を行う場合に不正証明書ダイアログが表示される。

- ・ マカフィー製品の更新処理
- ・ WEB閲覧時

【回避方法】 ※現象1 を対処済みの場合

「trustedsourceserver_imqa01」を除外ホストに登録する。



資料_ノートンセキュリティ

ノートンセキュリティ

【事象1】

CATSクライアントの書き込み規制有効時に、ノートンインターネットセキュリティのインストール時にアクティベーションに失敗する。

【回避方法】

グループ書き込み規制を無効にする。



資料_ESET

ESET パーソナル セキュリティ V8.0

【事象】

CATSクライアントがインストールされた状態で、ESETパーソナルセキュリティのアクティベーションを行うと失敗する。

[回避策]

グループ書き込み規制を無効に設定して、再度アクティベーションを行う。

ただし、こうしてアクティベーションした後、動作はしているにもかかわらず、設定画面には「アクティベーションされていません」と表示されてしまう模様。

CATSアンインストール後、再起動すると、正常表示になる。



資料_WindowsIntune

Windows Intune

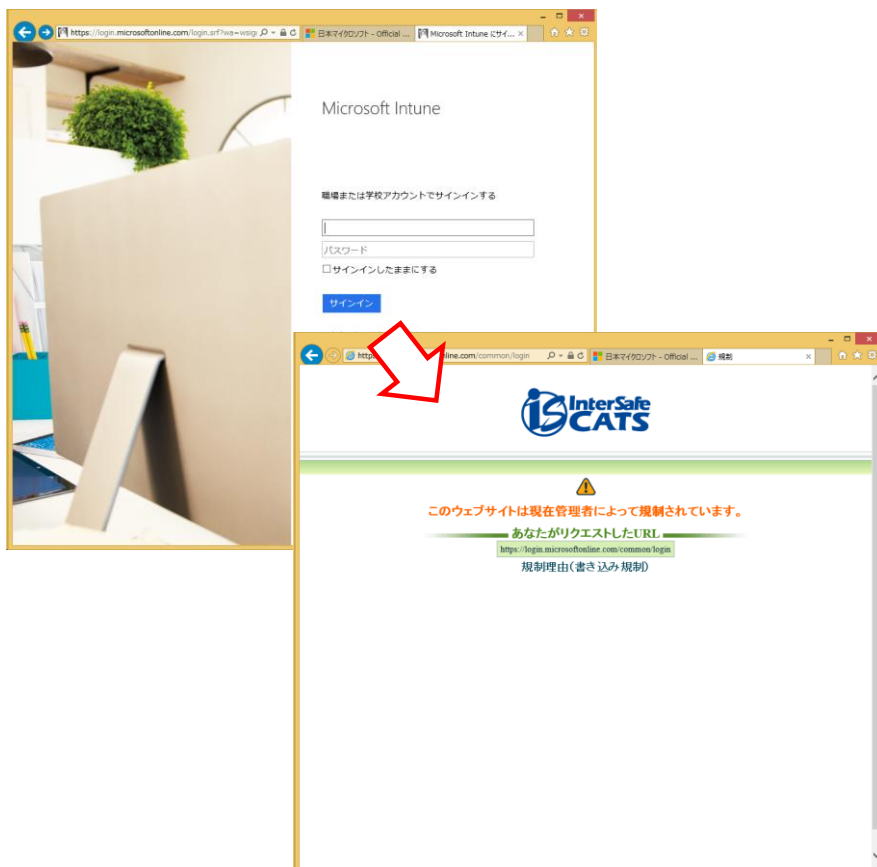
【事象1】

グループ書き込み規制が有効である場合に、WindowsIntuneのポータルサイトにログインできない。

【回避方法】

ク) グループ書き込み規制を無効に設定する。

Intune ポータルサイト ログイン画面



【事象2】

グループ書き込み規制が有効の場合、Microsoft Intune Centerから更新プログラム確認に失敗する。

【回避方法】

グループ書き込み規制を無効に設定する。



【事象3】

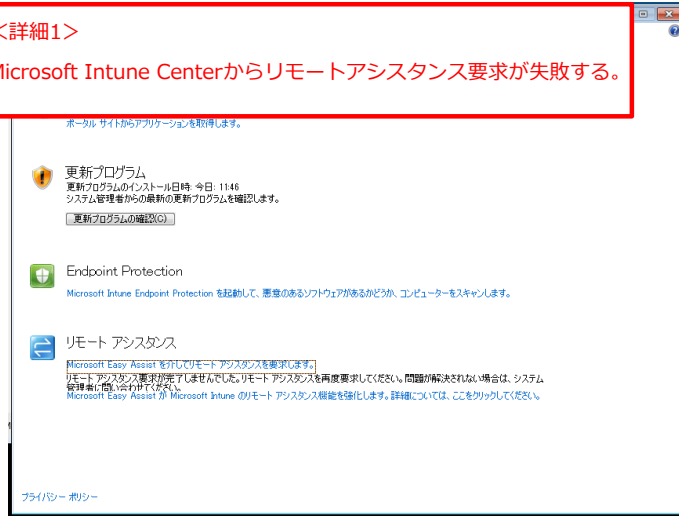
グループ書き込み規制が有効の場合、Microsoft Intuneのリモートアシスタンス機能が使用できない。CATSとWindows Intune同居時、Microsoft IntuneのリモートタスクがクライアントPCで実行され

【回避方法】

グループ書き込み規制を無効に設定する。

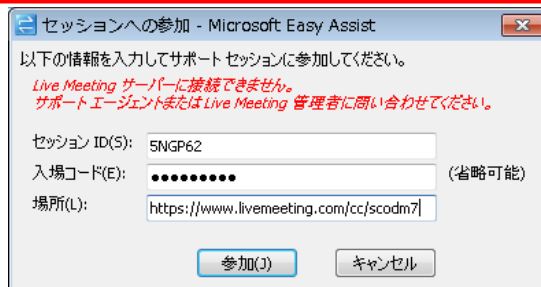
<詳細1>

Microsoft Intune Centerからリモートアシスタンス要求が失敗する。



<詳細2>

管理コンソールから[要求を承認してリモートアシスタンスを開始する]を選



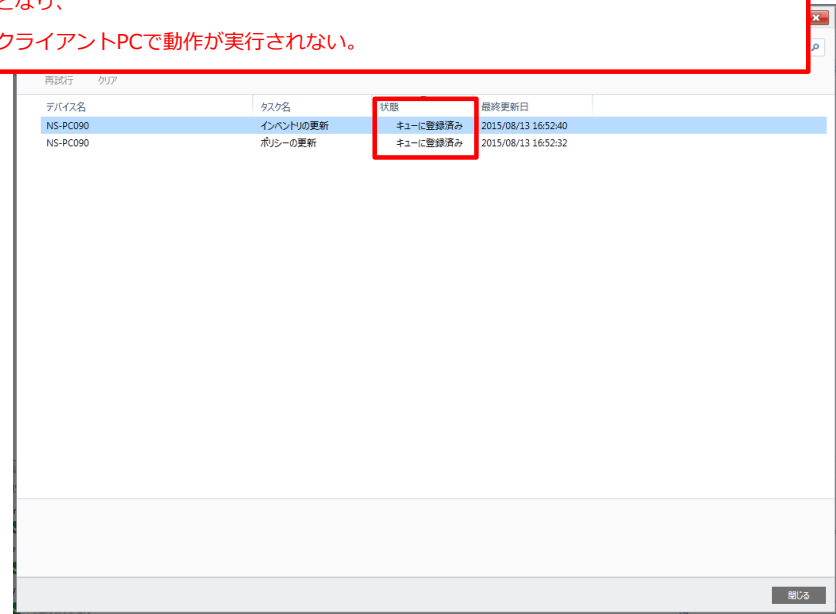
【事象4】

【回避方法】

除外ホストに以下を登録する。
msuc01.manage.microsoft.com

管理コンソールからリモートタスクを実行した場合、状態が[キューに登録済み]のままとなり、

クライアントPCで動作が実行されない。



資料_iTunes_iCloud

iTunes/iCloud

【事象1】

CATSとiTunesが同居していると、iTunesで動作しない機能がある。

【回避方法】 ※回避方法1、回避方法2のどちらかを設定することで回避可能

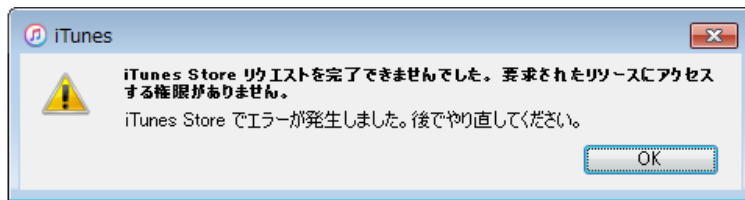
回避方法1：グループ書き込み規制を無効に設定する。

回避方法2：HTTPSフィルタリングを無効に設定する。

以下動作をした際に、エラーダイアログが表示され、動作を完了できない。

<動作しない機能>

- ・このコンピュータを認証
- ・サインイン (サインアウト)



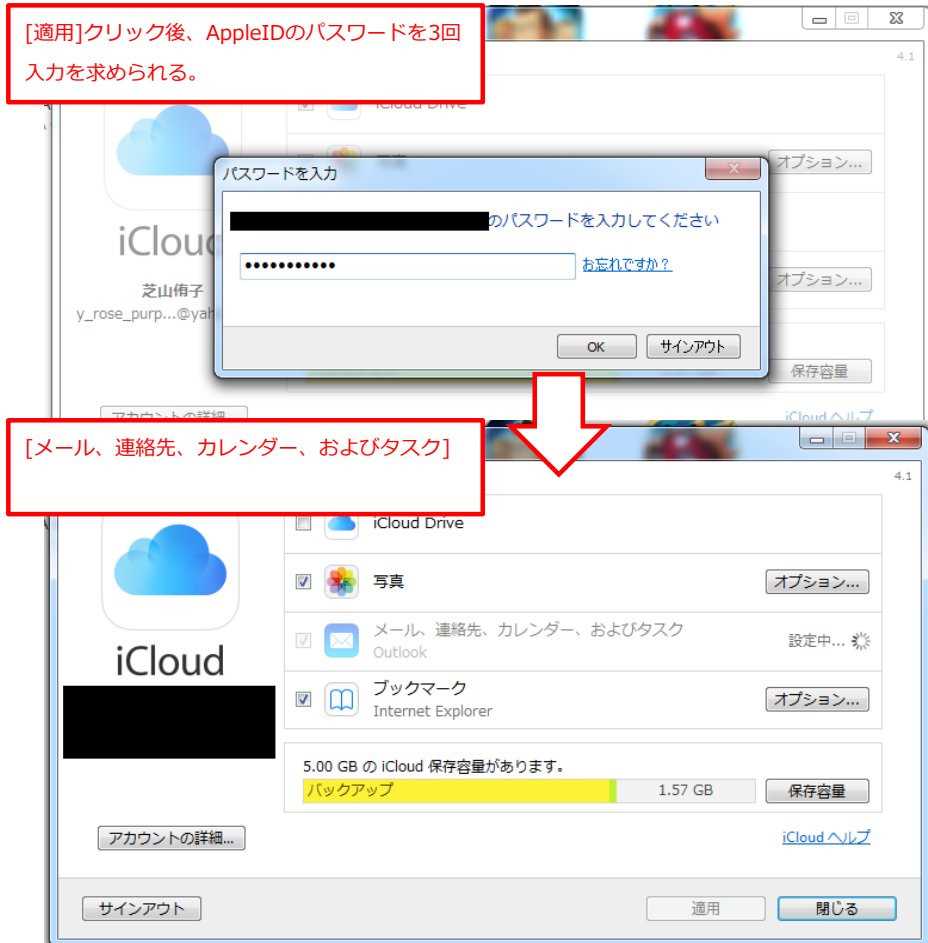
【事象2】

iCloudコントロールパネルで適用すると「メール、連絡先、カレンダー、およびタスク」で失敗する。

【回避方法】

グループ書き込み規制を無効に設定する。

[適用]クリック後、AppleIDのパスワードを3回入力求められる。



【事象3】

CATSとiCloudコントロールパネルが同居していると、iCloudで動作しない機能がある。

動作しない機能は以下の通り

- ・ iCloudメールアドレス作成時にエラーが出る。
- ・ クライアントPCでブックマークを登録→iPhoneに反映されない。
- ・ クライアントPCのiCloud Driveディレクトリにファイルを配置してもiCloud.com> iCloud Driveに反映されない。

【事象4】

CATSとiCloud同居時、OutlookのiCloud連携フォルダに連絡先が作成できない。

【事象5】

CATSでHTTPSフィルタリング有効/グループ書き込み規制有効の場合、iCloud.comにサインインできない。

【回避方法】

グループ書き込み規制を無効に設定する。



資料_MicrosoftOffice

Microsoft Office Professional 2013 SP1

【事象1】

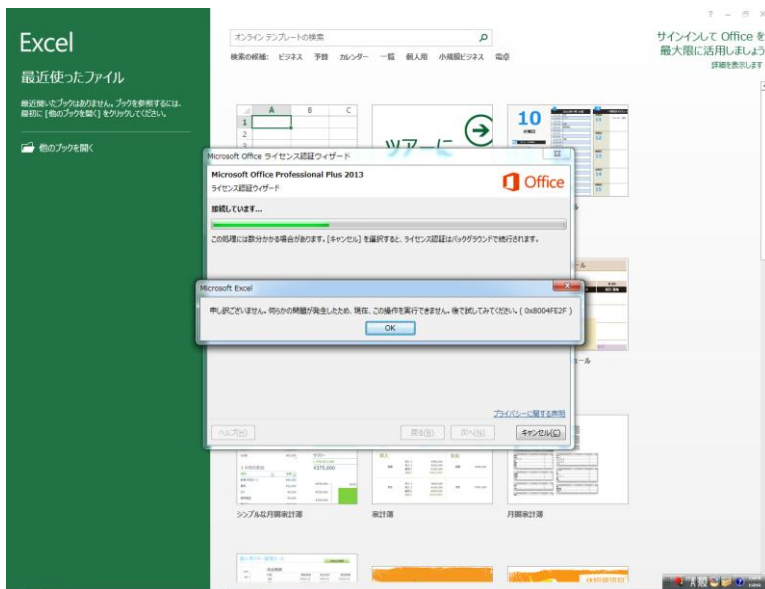
グループ書き込み規制が有効の場合、Officeのライセンス認証に失敗する。

[条件]

CATSインストール前にライセンス認証を行っていないこと

【回避方法】

グループ書き込み規制を無効にする。



【事象2】

グループ書き込み規制が有効の場合、WindowsLiveにサインインできずOneDriveにアクセスできない。

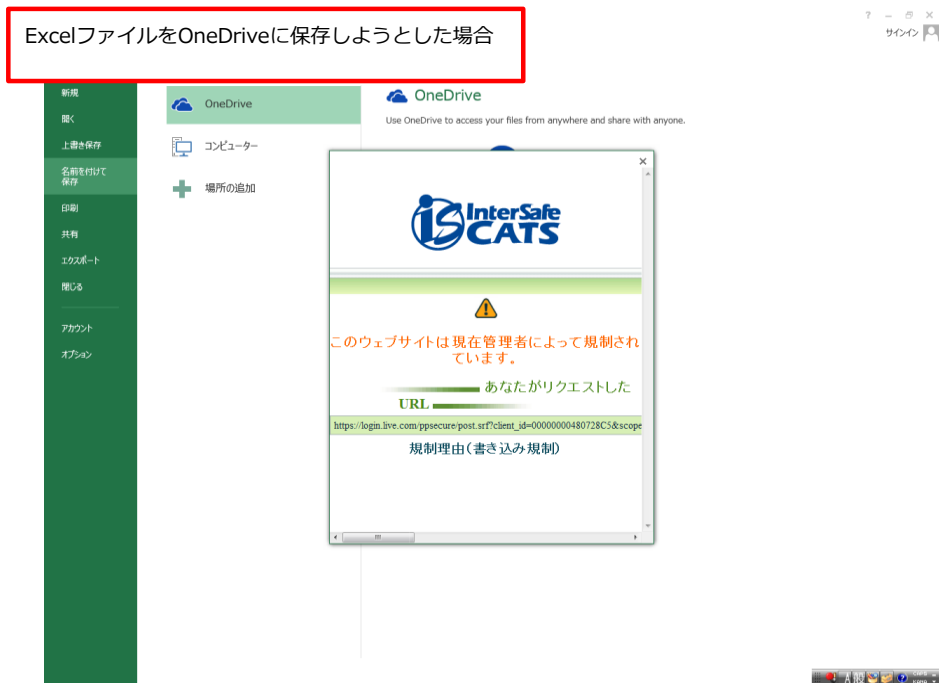
[条件]

OneDriveを利用するため、以下カテゴリを許可に設定する。

ダウンロード> ストレージサービス

【回避方法】

グループ書き込み規制を無効にする。



資料_OneDrive

OneDrive

【事象】

グループの書き込み規制が有効の場合、OneDriveが利用できない(Win7アプリ版)

※OneDriveのサインインが行えず同期がとれない

【回避方法】※回避方法1、回避方法2のいずれかを設定することで回避可能

回避方法1：グループ書き込み規制を無効にする。

回避方法2：以下の値をHTTPS除外ホストに登録する。

storage.live.com

*.mesh.com

login.live.com


contacts.msn.com

タスクトレイOneDriveのメニューから、OneDrive.comに移動、容量の管理をブラウザで行うのは以下の値もHTTPS除外ホストに登録する

mail.live.com

onedrive.live.com

■同期が行われない時のエクスプローラでOneDriveのフォルダーを表示した結果

 Documents

 Pictures

■同期が行われない時のタスクトレイの表示



■タスクトレイOneDriveのメニューから、OneDrive.comに移動、容量の管理を実行するとブラウザが起動しカテゴリ規制になる。



このウェブサイトは現在管理者によって規制されています。

あなたがリクエストしたURL

<https://skydrive.live.com/>

規制理由(カテゴリ)

ダウンロード > ストレージサービス

Downloads > Storage Services